

一宮高 同窓会報

いちのみや

創立 1919

愛知県立一宮高等学校同窓会事務局
一宮市北園通り6の9
TEL 080-7075-2147
FAX 0586-73-1083
2024年9月17日発行

NO. 35

事務局へのお問い合わせについて

一宮高校同窓会事務局へのお問い合わせは、080-7075-2147まで
よろしく願いたします。



校舎



全国高等学校総合文化祭出場 物化部



全国高等学校定時制通信制体育大会出場 柔道部



あいち科学の甲子園 優勝



全国高等学校定時制通信制体育大会出場 バドミントン部

本校同窓会は皆様の貴重な運営費を基に運営させていただいており、今年度もスパーサイエンスハイスクール校として県下の科学技術人材育成のフロントランナーとして、また高校総体では多くの部が県大会に出場するなど、活躍する在校生への支援をさせていただいております。

加えて本校正門駐車場の整備、通学時における交通安全対策をさせていただきます。

本同窓会報は毎年7月末までに運営費をいただいた方、総会幹事学年、次年度、次次年度幹事学年の皆様にご配布させていただきます。

近年、運営会費納入数は減少しており、郵便料金の値上げ等を含め運営面において厳しい状況下にあります。多くの皆様のご支援を賜り本校同窓会の運営にご協力を心よりお願い申し上げます。納入方法もパソコン、スマートフォン等のクレジット決済の運営を開始させていただいておりますので是非ご利用ください。

本校は今年創立106年を迎えます。110周年を目前に控え同窓会の皆様には、今後とも引き続き同窓会へのご支援ご協力を賜りますようお願いを申し上げます、会長挨拶とさせていただきます。



同窓会長

猪子 誠 兒

同窓会会員の皆様には、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。また日頃は本会運営に対し多大なるご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが昨年5月8日から季節性インフルエンザなど同じ「5類」に移行され、私たちを取り巻く生活環境も新型コロナウイルス禍以前に戻りつつあります。

そのような状況下の中、昨年11月3日、高校第34回生の皆様にご尽力を賜り、より多くの方にご参加いただき、令和5年度総会を盛大に開催させていただきました。

また関東支部の総会も後藤新支部長の下、本年4月7日に200名に迫る参加者のもと盛大に開催され、阿部校長先生と出席させていただきました。関東支部の活気あふれる活動に大いに感銘いたしました。

母校校長

阿部孝広



同窓会の皆様には、日ごろから母校の発展のために、物心両面からのご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年度は、校舎前の駐車場の白線を新たに引き直して頂いたことにより、保護者会など多数の来客がある際に、職員が炎天下に長時間立って駐車場整理をするという業務から解放されました。また、定時制の部活動の全国大会出場の際の遠征費の一部もご支援頂き、お陰様で生徒は持てる力を十分に発揮することができました。厚くお礼申し上げます。

さて、最近の母校の様子ですが、今春の進学実績においても、東京大学、京都大学、名古屋大学をはじめとする難関大学や、国公立大学医学部医学科にも多くの生徒が合格しております。また、ファッション創造科の生徒は、5年連続で「着物作品コンテスト」において、文部科学大臣賞を受賞しました。

この春には、10年ぶり2回目となりますが、科学の甲子園という競技において、愛知県で優勝し、筑波で行われました全国

大会に出場しました。吹奏楽部の二人の生徒もそれぞれトロンボーンとコントラバスで、中部日本個人重奏コンテスト本大会に出場して金賞を受賞しています。

さらに、4月以降に行われたしたインターハイ予選でも多くの部活動が県大会に進んでおります。その中でも、陸上部の男子400mハードルと弓道部が女子団体と個人で、県大会を勝ち抜き東海大会への出場を果たしました。また、物化部が岐阜で行われました全国高等学校総合文化祭へ出場しております。

定時制では、柔道部とバドミントン部が全国大会へ出場し、このうち柔道部は、女子団体戦において、全国優勝の栄冠を勝ち取りました。

全ては紹介できませんが、このように皆様の後輩は、皆様方に負けず劣らずの成果を上げてくれています。

秋には、一宮高校を題材にした映画「BISHU」が公開されちばん優しい服」が公開されます。皆様が過ごされた思い出の学び舎がスクリーンに映るのではないかと思います。是非、楽しみにして頂ければと思います。

今後、私たち職員は、一宮高校の生徒の健全な成長のために尽力して参りますので、同窓会の皆様方には、ぜひとも、これまでと変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

運営

同窓会役員 (R6.4.1)

会長

猪子 誠児(高22回・昭45年卒)

副会長兼関東支部長

後藤 益男(高30回・昭53年卒)

副会長

伊藤 幸一(高26回・昭49年卒)

関戸 徹(高28回・昭51年卒)

杉山 義幸(高37回・昭60年卒)

佐々 憲一(高42回・平2年卒)

伊藤 葉子(高44回・平4年卒)

監査

柄倉 勲(高37回・昭60年卒)

加藤 亘(高40回・昭63年卒)

松原 健午(高49回・平9年卒)

箕浦 正幸(母校事務長)

当番幹事代表

武田 和男(高35回・昭58年卒)

今井 誠(高35回・昭58年卒)

土川 兼司(高35回・昭58年卒)

納入のお礼、運営費クレジット決済サイトの運用について

毎年、同窓会運営費の納入にご協力いただき、誠にありがとうございます。

ご協力をいただく際の振り込み方法について、従来の郵便局やコンビニエンスストアでの振り込み方法に加え、パソコンやスマートフォンなどでのクレジット決済サイトの運用を開始

させていただきます。よろしくお願いいたします。

同窓会報のお届けについて

毎年7月末までに運営費を納めていただいた方と、幹事学年(高校35回)・来年度再来年度幹事学年(高校36回、37回)・表彰学年の方に同窓会報をお届けしています。お近くの同窓生の方に会報が届いていない方がみえましたら、本校HP内同窓会ページをご覧になって手続きをされるようにお伝え願えれば幸いです。よろしくお願いたします。なお、周年号(5年毎、次回は第39号)については全会員にお届けします。よろしくお願いたします。

運営費納入状況

令和5年度運営費総計			
中	学	9	¥18,000
真	澄	11	¥22,000
高	校	1,552	¥3,171,000
定	時	45	¥96,000
一	般	2	¥22,000
総計		1,271	¥3,329,000
令和4年度		1,270	¥2,747,420

★運営費の納入をぜひお願いします!

寄贈図書について

『タンマパダ ブツタ真理の言葉』 訳/今枝 由朗
 『仏教の歴史』 訳/今枝 由朗
 『昭和41年卒 今枝 由朗
 『或る団塊の残照』 昭和41年卒 岡地 毅

吹奏楽部からのお願い

吹奏楽部では近年管楽器の購入ができず、学校所有の楽器の老朽化が深刻になっていきます。楽器をお譲りしていただける方がいらっしゃいましたら、吹奏楽部顧問までご連絡いただくと幸いです。よろしくお願いたします。

卒業60年になる同窓生の方には記念品贈呈

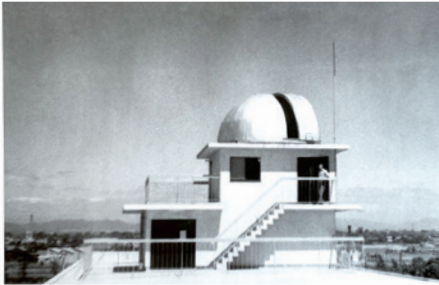
総会出席の昭和40年卒、高17回生・定14回生が対象です。

本年は、主に昭和21年4月～22年3月生まれの方が該当学年です。

ドームの あつた風景

高村 裕三朗

高校29回・昭和52年卒
一宮高校非常勤講師

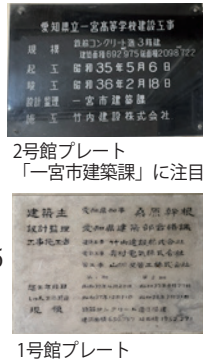


一宮市の100年(樹林舎)より(正しい口径は12.5cm)

一宮高校屋上の天文台 昭和36年、新校舎建設に際して空想だったドーム付きの天文台が設置された。天文台は物理学教室と連結しており、屋下では名古屋市の東山天文台に次ぐ規模であった。望遠鏡は口径16センチの望遠鏡を備えた。ちなみに、天文台部の卒業生らは以前から一宮天文同好会を組織し、市内各小学校で天体観望会を開いたり、人工衛星の国際観測に参加するなど積極的に活動していた。(北園通・昭和36年・提供=森清博氏)

2022年の2号館改修工事で、ヤリ高のシンボルと言われてきた、あるものが解体されて無くなった。筆者が本校入学時に、憧れて見上げていたドームである。学校の資料によると、天文ドームまたは地学ドームと記録されている。1961年(昭和36年)2号館(理科棟とも呼ばれていた)かもしれないが建築され、その屋上からさらに階段を上がる、つまりは5階の高さに相当する、明らかに当時として

は目立つ建築物であった。建築当初の資料は筆者の手元にはなく、「一宮市の100年」の写真が唯一となるので引用させていたのだが、2号館1階にある建築時のプレートと、1号館のそれとを是非見比べてもらいたい。どうやらドーム等は、一宮市のガチャマン景気の賜物であるらしい。



2号館プレート 「一宮市建築課」に注目

1号館プレート

ドーム内部には、口径12.5cm屈折赤道儀(メーカー名不明)が設置されていた。1974年(昭和49年)筆者は本校に入学して間もなく、このドームの入口の戸を叩いた。三人の優しい先輩が迎えてくれた。



昭和52年当時のドーム内望遠鏡

てくれた。物化部天文班に入部した日のことである。入部してからは、授業が終わるとすぐに階段を上がってドームにきた。丸い天井から垂れ下がったロープの一方を引っ張る

と、ドームのスリットが開き、壁についた大きなハンドルを回してドームを回転させ、太陽光が望遠鏡に当たるように調節する。階段状の足場があって、2、3段登ると、望遠鏡の接眼部と太陽投影板が目の高さになる。望遠鏡の向きを固定するクランプハンドルと微動ハンドルが接眼部まで延びていて、それを操作して太陽を導入する。こうして既に少しガタのきている望遠鏡で、毎日太陽観測をした。直径15cmの円の描かれた観測用紙に、投影された太陽のスケッチをとるのだ。

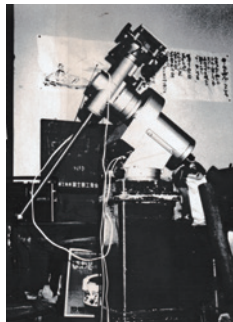


NGC4565ひるがの観測所にて筆者撮影

観測会は徹夜だった。(これは現在も引き継がれている)自分はこのガタのある望遠鏡で、暗い対象を導入するのは無理と割り切っていたが、先輩が随分と時間をかけて、かみのけ座にあるNGC4565を導入して見せてくれた。エッジオン銀河のその姿は、写真のように鮮明ではないが、ぼんやりと串の中央に団子が1つ付いたような形が分かった。感動した。口径は神である。自身が所有していた望遠鏡の口径は6.5cm。面積比は約4倍、暗い銀河には有効であった。今でもこの串団子の形は好きな銀河で、時々撮影して

いる。

筆者は高2で物化部天文班の班長を務めた。電気班というアマチュア無線をやっていた金食い班があって、殆ど天文班に部費が回ってこないことに腹を立て、地学部として独立を申し立てた。そして、生徒会に認められたのが地学部の始まりである。卒業後も地学部のことは気にかけていたので、その後のドームについて知っていることを記しておく。



望遠鏡改修時に工房で撮影(詳細不明)

鉄製のドームは錆が進み、回転が重くなっていく。回転ハンドルは廃止され、パイプを下から差し込み、複数人でパイプを押し回して回転させる方式に変更された。望遠鏡架台も交換されて、天体の追尾が電動になった。しかし、回転部の錆はさらに進み、ついにパイプ方式でも回転ができなくなって、ドームは使用不能となった。ドームの外装自体は、再塗装が1回されていて、さらに鉄板の最下部で穴が開いてしまっていた部分は全周に渡って張り直しがされている

そんな状況を地学部のOB会で聞き及んでいた筆者は、高校の教員になって数学を教えている。1999年に本校に赴任し



図書館前踊り場から

て、地学部の顧問になった。動かなくなると、大雨の時には雨漏りするドームは、地学部の望遠鏡倉庫になっていた。のちにSSHがスタートすると、物化部の大型装置等の倉庫も兼ねて、ドーム内は物が溢れかえっていた。やがてこのドームをプラネタリウムドームとして活用しよう、という声が部員の中から上がってきた。溢れていた物は整理され、階段の手すりにペンキが塗られた。次の世代は木製のプラネタリウムドームの設計から製作を手掛け、ドーム内に一回り小さなドームスクリーンが完成した。かつての観測用ドームは、プラネタリウム施設に生まれ変わった。そして、バージョンアップを重ね、現在も利用されている。冒頭の改修工事の時には、ドームスクリーンは解体して、工事後に再組立とスクリーンの張り直しをしている。プラネタリウムは、小学生向けに自主制作番組を年間3〜5回、土曜午後公開している。大人も楽しめる内容になっているので、階段で5階まで上がった後、見学していただきたい。予約制で詳細は以下を参照X (@chigaku138)

令和5年度総会開催

- ◎令和5年度第1回役員会・幹事会
令和5年6月8日(木) 一宮商工会議所
役員会参加者18名・幹事会参加者33名
- ・令和4年度事業報告並びに会計報告
- ・令和5年度事業計画
- ・令和5年度役員について
- ◎令和5年度第2回役員会
令和5年10月5日(木) 桃陵館
役員会参加者23名
- ・令和5年度同窓会総会について



11月3日(金)、同窓会総会がiビルシビックホールを会場として開催されました。新型コロナウイルスの影響により、オンライン配信形式、ハイブリッド形式等困難な時期を乗り越えて、四年ぶりに元の形での開催になりました。スローガン「シン・同窓会」人生100年時代 これまで、そしてこれからのために」を掲げ、高

校34回生のご尽力により、約180名の参加者で、盛大に開催されました。

総会は式次第に沿って、伊藤葉子副会長の司会で進められ、伊藤幸一副会長による開会の言葉と物故者追悼、猪子誠児会長の挨拶、阿部孝広母校校長の挨拶に続き、来賓を代表して小川八郎元母校校長による来賓挨拶を賜りました。議事に入り、松原健午会計による会計報告、枅倉勲監査による監査報告に続き、役員紹介を行いました。令和4年度をもって森田孝副会長、山内薫監査が退任され、令和5年度からは、新たに後藤益男副会長(関東支部長)、加藤巨監査をお迎えすることになりました。次に、同窓会事務局から運営費の納入状況の報告と、卒業60年の方への記念品贈呈について説明しました。記念品贈呈については、今年度は総会参加者が無く、記念品贈呈はありませんでした。そして、今年度をもって退任さ

れた森田孝副会長に感謝状と花東が贈呈されました。また、関東支部では、今年度四月に関東支部発足22年の支部総会を168名の参加により開催され、支部長を始め新旧交代が図られました。これまでの関東支部の発展に寄与された方々に感謝の意を表して関東支部に感謝状が贈呈されました。最後に、伊藤幸一副会長による閉会の言葉で総会を閉じました。



続いて、講演会にうつりました。高校34回生の篠田道秀様から講演をしていただきました。

篠田様は東京大学を卒業後にNHKに入局され、長野局・放送センター・高知局・国際局等で活躍され、現在もNHKディレクターをされています。その間「ウォッチング」・「ひるどき日本列島」・「くらしのジャーナル」等を企画・制作され、2021年からは東京五輪の検証、明治神宮外苑再開発問題を取材されています。講演の演題は「すべてはプロセスである」今、話したいこと、挑みたいこと」で、仕事だけではなく、日々の出来事、取り組みを取材し、編集し、作品にしている姿を動画を変えて紹介していただきました。

例えばこの夏、名鉄百貨店一宮店

で一宮高校後輩の真野尚人さん(高校50回生)や同級生と行った「みんなで作る！リモートかぶとむし相撲」の様子や、フアッション創造科の生徒が東京ガールズコレクション企画・演出の尾州コレクションに参加する姿や思いなどを取材した動画を紹介していただきました。また、「シン・同窓会」というスローガンに込めた思いや事業を企画・構想・挑戦する気概を伺いました。

講演会後には、四年ぶりにマスクなしでの通常の懇親会も実施でき、和やかな雰囲気の中、恩師の先生方や旧知の皆様との懇談に花が咲いていました。また、懇親会後には同会場にて学年懇親会も行われ、恩師を含めて130名の参加があり、笑顔あふれる様子が見られました。

最後に、相変わらず先行き不透明な状況下、物価高騰など難しい判断を求められる中で柔軟に対応し、総会実施のためにご尽力くださいました高校34回生の皆様、並びに関係の方々には厚く御礼申し上げます。



第10回生橋寿 記念同窓会

岩田 隆 (高10回)

私たち第10回生(昭和33卒)は、これまで、還暦に始まり、古希、喜寿、傘寿と記念同窓会を重ねてきましたが、令和5年11月4日に一宮商工会議所で橋寿記念同窓会を開催しました。実は傘寿記念をもって記念同窓会は締めとする予定でしたが、その後も開催の要望がありまして、幹事で検討の結果このような同窓会を開くことになったわけです。

「橋寿」というのは馴染みのない言葉かもしれませんが、これは84(はし)と「橋」の一種の掛詞が由来と考えられます。傘寿と米寿の中間点にあつて、その橋渡しの役割を担っているという見方もできます。ちなみに12支の7廻り目にも当たります。

高齢にもかかわらず、出席者は52名にも及び、しかも関東から九州に至るまで広い地域に亘りました。同窓会は右田道弘会長の挨拶に始まり、物故者追悼などを経て、懇親会に移りました。会食、談笑の傍ら、過去の記念同窓会の映像を見たり、関東支部に属する方の活動報告を聴くなど盛りだくさんの内容でした。そして最後に、校歌(私たちの在学中に制定)と応援歌を高らかに歌った後、力強い3・3・7拍子で幕となりました。

一次会の後、同館の1階で茶話会形式の二次会が行なわれましたが、こども話は尽きないようでした。さらに、過去の同窓会は名古



令和5年11月4日 愛知県立一宮高等学校 第10回生 横寿記念学年同窓会 於 一宮商工会議所 3階ホール

屋で行われましたが、今回地元開催ということもあって、希望者を募って母校見学(タクシー利用)という新しい試みを加えました。これには学校側も便宜を図っていたできました。私たちが在学していた当時の母校にはまだ戦前の面影がありました。今見る学舎にはそれを偲ばせるものはほとんどありません。それでもここに身を置くと、多感な高校時代のいくつかのシーンが脳らずも走馬灯のように蘇ってきました。外観は変貌したとはいえ、校訓の「質実剛健」はいまでも息づいていると信じます。天気にも恵まれ、3時間の同窓会はあっという間に過ぎました。この体験が高齢の身に一服の清涼剤になったものと思います。別れ際に交わす「お元気で」の声には、心なしか力強さがこもっていました。



村橋さん(写真左端)の演出で「えびすくい」

第2部では、昨年のNHK大河ドラマ「どうする家康」のチーフディレクターを務められた村橋直樹さん(平成10年卒)の講演でした。「ディレクターって何をやる人なの？」といった疑問を分かりやすく解説していただくとともに、「どうする家康」で登場した「えびすくい」のワンシーンを実際に

同窓会本部からは猪子誠児会長、母校より阿部孝広校長先生のご臨席を賜り、ご祝辞と母校の近況をお伝えいただきました。阿部校長先生からは、母校の近況、在校生の活躍のご紹介の他、今秋

に公開予定の映画に一宮高校が登場するとのこと案内がありました。映画では架空の高校として描かれるようですが、母校のどの場所がスクリーンで見られるのか楽しみで待ち遠しいです。第1部の総会では、昨年支部長に就任された後藤益男支部長(昭和53年卒)のご挨拶の後、2023年度活動報告や収支報告、2024年度の事業計画と予算案、会則改正案等、6つの議案が上程され、いずれも満場一致で承認されました。

関東支部「第23回総会」を開催

桜満開の東京・市ヶ谷で 歌って、踊った同窓生

実行委員長 野村孝禎(昭和57年卒)

2024年4月7日、明け方まで降っていた小雨もあがり、満開の桜が咲き誇る千鳥ヶ淵に程近い「アルカディア市ヶ谷 私学会館」で、第23回一宮高等学校同窓会・関東支部総会が昨年を上回る184名の出席を得て開催されました。

演出していただき、普段は見ることができないテレビドラマの制作現場を垣間見ることができました。村橋さんのお話が盛り上がり少々予定時間をオーバーしましたが、「なぜ弱い家康を描いたのか」「最終回に現代の東京の風景を重ねた意味」など、この講演でしか知ることができない興味深い内容満載の楽しい時間でした。

第23回実行委員会では、年次を超えた同窓生のタテの繋がりを強化したいと考え、「村橋直樹さん一宮高校同窓生応援チャット」を開設し、会場で60名を超える同窓生に参加いただきました。今後ドラマの演出が予定されている村橋さんの活躍を同窓生で応援していきましょう！



会場一杯の同窓生全員で 応援歌・校歌斉唱

そしてお待ちかねの第3部懇親会は、恒例の「じゃんけん大会」と「クイズ大会」。「クイズ大会」では一宮に関する「人物」「歴史」「地理」「出来事」といった各分野から

厳選した10問が出題され、一宮にゆかりのある豪華賞品をゲットするべく、高校時代に戻って答案用紙と格闘する(懐かしい)光景が各テーブルで見られました。私たち昭和57年卒の実行委員会は、昨年の11月28日にキックオフミーティングを開催し、平日の夜に週次でZOOMミーティングを通じて準備を進めてきました。例年に比べて4ヶ月という短い準備期間でしたが、ご出席いただきました皆さまのご協力、そしてとりわけ昭和56年卒の前年度実行委員の皆さまの多大なご支援をいただき、無事務めることができましたこと、この場をお借りして御礼申し上げます。

そして昭和57年卒同級生も12名が集うことができました。ほとんど高校卒業後初めて会う面々ばかりでしたが、楽しく懐かしい時間を過ごすことができました。この関東支部総会が再会のきっかけを与えていただいたからと感謝しています。

来年の第24回関東支部総会・懇親会は、2025年4月13日(日)12時より、今年と同じ「アルカディア市ヶ谷 私学会館」にて開催予定です。詳細は来年2月頃のご案内を予定しています。今年を上回る多くの皆さまのご出席をお待ちしています。

母校だより

■全日制

「質実剛健」と「文武両道」の精神のもと、生徒は高い志をもって学業や部活動、学校行事に全力で取り組んでおり、校内には生徒の笑顔が溢れ、活気に満ちています。

総合体育大会では、昨年度は尾張支部で男子が総合優勝、女子が総合準優勝、今年度は女子が総合優勝、男子が総合準優勝を果たしました。

団体では、ラグビー部・水泳部男女・体操部男子が優勝したほか、弓道部女子・ソフトテニス部男子・卓球部男女・バスケットボール部女子・ハンドボール

部男女・体操部女子と多くの部が県大会に出場しました。個人でも、優勝をはじめとした好成績を収め、県大会に出場しています。さらに弓道部女子の団体・個人と陸上部男子の4000mハードルでは、県大会でも上位の成績を収めて東海大会（岐阜県）へ進み、東海大会では弓道部女子が団体で第3位となりました。

文化部では、3月に行われた中部日本個人・重奏コンテスト本大会において、コントラバス独奏とトロンボーン独奏でそれぞれ金賞を受賞しました。物化部は高文連自然科学専門部研究発表会全国審査部門において、

風車班の「風の角度によるプロペラ型風車の電力損失」が優秀賞を受賞、7月末から行われる全国高等学校総合文化祭（岐阜

大会）に出場します。また、大会派遣という形で出場した将棋（女子）で、見事に県大会で準優勝（全国大会出場）の成績を収めました。

フアッション創造科は、「きもの作品コンテスト」において最優秀賞にあたる文部科学大臣賞を令和5年度まで5年連続で本校生徒が受賞する快挙が続いています。その他にも、全国技能士会連合会会長賞や日本和裁士会会長賞などの優秀賞も受賞しています。また、11月に真清田神社や本町商店街を会場にして行われる「尾州フェス」への協力も決まっています。

SSH事業は、令和5年度から3年間の第V期申請が認められ、通算22年目を迎えています。Society5.0時代を切り拓くチェンジメーカーを育成するた

め、これまでのSSH事業で培った様々なプログラムを更に進化・発展させるとともに、他のSSH校や外部機関と協働して、新たな価値を創出する持続可能な教育システムの開発に引き続き取り組んでいます。さらに、第13回科学の甲子園全国大会出場や生物部は神戸国際展示場で行われるSSH生徒研究発表会、地学部も大阪教育大学天王寺キャンパスで行われる第14回高校生天文活動発表会（SSH事業）に参加するなど、活発に活動しています。ほかに、今年度から始まる「板橋高級中學」との国際交流（交換留学・生徒交流）や従来からの文化講演会など、さまざまな行事が計画されています。一宮高校生がこれらを通して、チェンジメーカーとなることを期待しております。

私たちが弓道部は、自分たちで安土工事を行うなどして、自分たちの練習場を試行錯誤しながら整備し、部員一同日々練習に励んでいます。

■定時制

今年度の全校生徒数は、5月1日現在121名で、「基礎学力の定着」、「基本的な生活習慣を身に付ける」といった教育目標に則り、今年度も少人数編成を継続し、落ち着いた学習環境の中で、日々生徒は学習に励んでいます。

令和6年3月の卒業生は3卒5名を含む26名でした。進学者は13名で、愛知文教大学、東海学院大学、修文大学、星城大学、各種通信制大学、各種専門学校へ進み

ました。就職では、7名の生徒が正社員となりました。

部活動は柔道部、バドミントン部、バスケットボール部が今年度も引き続き活発に活動しています。定通総合体育大会では、柔道部、バドミントン部が8月に行われた全国大会出場を果たすことができました。

外国人生徒教育支援員の先生にタガログ語や日本語の学習支援を受けている生徒たちも授業での学習と両立し、熱心に取り組んでいます。

学校行事では、6月14日に生徒会主催のスポーツ大会が実施され、ドッジボールの熱い戦いが繰り広げられました。また、7月26日にはボウリング大会が開催され、クラスの親睦が深まりました。

■マイクラブ弓道部

2024年6月22日（土）、23日（日）に開催された第71回東海高等学校総合体育大会にて、本校弓道部は県総体を勝ち抜いた女子個人1名と、女子団体が出場しました。個人では惜しくも入賞となりませんでした。団体では3位という成績をおさめました。

普段の練習では、再現性を高

主な国公立大学入試合格者数

()内は卒業生の内数

大学名	令和6年度 (76回生)	令和5年度 (75回生)
<国立大学>		
北海道 大大	3 (1)	7 (2)
東北 大大	3 (2)	1
東京 大大	7 (1)	13 (3)
一橋 大大	4 (1)	1 (1)
静岡 大大	29 (7)	16 (3)
名古屋 大大	3	
名教 大大	71 (16)	78 (16)
愛知 大大	6	7 (1)
名古屋工業 大大	13 (1)	17 (1)
三重 大大	11 (2)	4 (2)
滋賀 大大	6 (1)	4 (1)
京都 大大	20 (6)	22 (8)
大阪 大大	7 (1)	8 (1)
神戸 大大	2 (1)	4 (2)
広島 大大		1
九州 大大	3 (3)	
国立医学部医学科	12 (9)	3 (1)
上記含国立大学総計	227 (58)	215 (49)
<公立大学>		
愛知県立 大大	6	2
名古屋市立 大大	18 (2)	16 (1)
上記含公立大学総計	31 (5)	29 (6)
<私立大学>		
慶應 大大	15 (7)	15 (5)
東京 大大	39 (24)	29 (18)
明治 大大	19 (8)	18 (11)
早稲田 大大	21 (9)	14 (5)
南山 大大	130 (13)	106 (8)
同志社 大大	68 (19)	73 (27)
立命館 大大	80 (26)	77 (29)
上記含私立大学総計	763 (193)	640 (191)



めるため、安定した射をいつでもできるように意識し、また自分のためではなくチームのために自分が成長することを意識して練習しました。大会で、いつも通りの射をするために、イメージトレーニングをしたり、呼吸に気を付けたり、ルーティーンを作ったりして常に心を安定させることを頑張りました。東海大会の会場の緊張が走る雰囲気の中、強い高校は技術はもちろん、礼儀や所作といった基礎的なことにも力を入れていて、自分の甘さや、弓道をするにあたっての大切なことに気づかされました。様々なプレッシャーがありました。自分たちの力を信じて力を出し切りました。このメンバーだったからこそ、今までで一番楽しく、心に残る弓道ができました。かけがえない体験ができて、このメンバーで弓道ができて本当によかったです。

応援していただき、本当にありがとうございました。

後輩の活躍

〔令和6年度〕

(7月までの県大会以上の成績)

〔全日制〕

◎弓道部

(女子団体)令和6年度東海高等学校総合体育大会弓道競技第3位
県大会出場 女子個人、男子個人

◎陸上部

第78回愛知県高等学校総合体育大会陸上競技大会 出場
男子100m、200m、400m、400mH、4×400mR、走幅跳、三段跳、円盤投
女子800m、3000m、4×400mR、走幅跳、砲丸投、やり投

男子400mH 4位 鎌本康成 (東海大会出場)
第84回愛知陸上競技選手権大会 走幅跳
第5位(東海大会出場)

◎ソフトテニス部

(男子団体)第77回愛知県高等学校総合体育大会ソフトテニス競技尾張支部予選会 第3位
個人ダブルス2組
県大会出場

◎卓球部

(男子団体)第78回愛知県高等学校総合体育大会卓球競技尾張支部予選会 第5位
ダブルス、シングルス
県大会出場

(女子団体)第78回愛知県高等学校総合体育大会卓球競技尾張支部予選会
準優勝 ダブルス、シングルス
県大会出場

◎バスケットボール部

(女子)第78回愛知県高等学校総合体育大会バスケットボール競技尾張支部予選会 第5位
ハンドボール部

(男子)第78回愛知県高等学校総合体育大会ハンドボール競技尾張支部予選会 第3位
(女子)第78回愛知県高等学校総合体育大会ハンドボール競技尾張支部予選会 第4位

◎ラグビー部

第78回愛知県高等学校総合体育大会ラグビーフットボール競技尾張支部予選会
優勝

◎体操部

(男子団体)第78回愛知県高等学校総合体育大会体操競技大会 第4位
個人4人出場
(女子団体)第78回愛知県高等学校総合体育大会体操競技大会 第5位
個人3人出場

◎水泳部

(団体)第78回愛知県高等学校総合体育大会水泳競技尾張支部予選会 男子総合・女子総合ともに優勝
(個人)男子50m自由形、200m自由形、100m平泳ぎ、100mバタフライ、200mバタフライ、200m個人メドレー、400m個人メドレー、4×100mフリーリレー、4×200mフリーリレー、4×100mメドレーリレー女子50m自由形、100m自由形、200m自由形、100m平泳ぎ、200m平泳ぎ、200mバタフライ、女子4×100mフリーリレー、4×200mフリーリレー、4×100mメドレーリレー

愛知県大会
女子の部個人 準優勝 全国大会出場

◎ファッション創造科

第34回きもの作品コンテスト 文部科学大臣賞
全国技能士会連合会会長賞
日本和裁士会会長賞3名
[第75回愛知県高等学校校定時制通信制総合体育大会]

〔定時制〕

◎柔道部

(女子個人戦)
52kg級優勝 岩井 智鶴 (全国定通総体出場)
63kg級2位 中島 瑠海 (東海大会出場)
(全国定通総体出場)
(東海大会出場)

63kg級3位 五十嵐 優愛 (全国定通総体出場)

63kg超級優勝 田中つむぎ (全国定通総体出場)

◎バドミントン部

(愛知県女子団体優勝)
(東海大会出場)
(全国定通総体出場)
(東海大会出場)

◎生物部

第24回中部の未来創造大賞 優秀賞
第22回A I Tサイエンス大賞 ものづくり部門 優秀賞

◎地学部

第60回全国高校将棋選手権大会

◎将棋

総 会

令和6年度総会

第106回同窓会総会は、今年度還暦を迎える高校35回生が幹事として開催いたします。会場は、私たちが高校時代を過ごしたふるさと一宮のiビル7階のシビックホールです。図書館やホール、商業施設が併設され、一宮市の玄関口として大いに賑わう一宮駅ビルに同窓生が集い、旧交を温め、親睦を深める機会が持てることを楽しみにしています。

『まだまだ!!これから♪』

これが今年度のスローガンです。人生百年時代と言われて久しくなりました。60歳が定年退職の年齢だったのも今は昔。65歳までしっかり勤めたものか、古稀までがんばるのか。かつて思い描いていた還暦とはちよつと違った私たちの現状です。



スローガンは同級生のみなさまから募集しました。応募作の中で、「引退とか、まだまだ早い。これからの人生をもっともっと元気に進んでいこう。楽しいことを作り出していこう。そんな思いとともにロゴマーク付きで送ってくださったこのスローガンに決めました。このスローガンが集まった私たちに一層の元気を注いでくれるこ

とを願います。総会の後は講演会です。幹事学年の同窓生、村手聡氏に依頼したところ、快く引き受けてくれました。村手氏は地方創生、情報化推進、災害復興など様々な分野で活躍し、令和5年から愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会の事務総長として活躍中です。講演会では、ふるさと愛知で開催される

運びとなった大イベント、アジア・アジアパラ競技大会の成功に向けて熱い思いを語っていただけると期待しています。日本各地での行政経験が豊富な村手氏のお話を楽しみにしています。同窓会ではお世話になった先生方や同級生たちと久しぶりの再会となりますが、名札を用意いたしますので安心です。久しぶりの

挨拶を交わし、あの頃の気持ちに戻って存分に語り合いたしましょう。同窓生のみならず、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

幹事学年 高35回生幹事一同

令和6年度 同窓会総会

「まだまだ!!これから♪」

日 時 令和6年11月2日(土)

受付 10時00分~10時30分
 総会 10時30分~11時10分
 講演会 11時10分~12時00分
 懇親会 12時30分~14時00分

会 場 尾張一宮駅前ビル(i-ビル7階シビックホール)

☎0586-28-9153

尾張一宮駅・名鉄一宮駅改札口より東へ徒歩1分

会 費 総会・講演会 : 無料

懇親会 : 8,000円

申込・締切 懇親会へのご参加を希望される方は、同封の払込票

にて10月10日(木)までにご入金ください。

入金確認をもって出席確定とさせていただきます。

(会場定員を超える場合、入金日の先着順とさせていただきます。お早目のご入金をお願いいたします。)

また、上記会費とは別に同窓会運営費2口2,000円以上の振込についてもよろしくお願いたします。

<一宮高校 第35回生(昭和58年3月卒業生)の皆さまへ>

懇親会終了後、35回生の同窓会を開催します。同封のご案内(水色A4用紙)をご参照の上、ぜひご参加ください。

問い合わせ先：学年幹事代表 武田和男 / 副代表 今井 誠 / 副代表 土川兼司
 メールアドレス：ichinomiya035@gmail.com

R6年度 同窓会総会 企画講演

講演の内容

「来るアジア・アジアパラ競技大会、新しい時代を拓く力に」



講師：村手 聡氏 (愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会事務総長)

略 歴

- 1983年3月 一宮高校卒業
- 1988年3月 東京大学法学部卒業。4月自治省入省
- 1993年7月 八戸市財政部長
- 2005年4月 総務省地方情報化推進室長
- 2006年7月 岡山市助役(07年4月副市長)
- 2011年5月 内閣官房(12年2月復興庁)参事官(東日本大震災復興対策担当)
- 2013年6月 総務省固定資産税課長
- 2015年8月 群馬県副知事
- 2017年7月 総務省地域創造グループ地域政策課長
- 2019年7月 内閣府大臣官房審議官(防災担当)
- 2021年7月 総務省自治大学校長
- 2022年7月 内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局次長
- 2023年7月 愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会事務総長